

# シナリオ型実行動訓練立案の手引き ～訓練担当者の方へ～



## 訓練日時、場所、参加者

訓練日時、訓練場所、参加者を決めましょう。

- ・ 時間はトータル30分程度から
- ・ 場所は参加者が普段から勤務している場所
- ・ 参加人数は少人数でも大人数でも可能  
(大人数の場合は役割分担ができます。)



## 訓練の想定

訓練の想定を決めましょう。

- ・ 時間帯は・・・
- ・ 従業員数と配置は・・・
- ・ 施設利用者の数と配置は・・・
- ・ 出火場所は・・・



## 役割分担

大人数の場合は役割分担をしましょう。

- ・ 隊長
- ・ 初期消火班
- ・ 通報班
- ・ 避難誘導班
- ・ 記録係
- ・ 検証者      など



## 消防用設備等の確認

消防用設備や防火戸、避難階段の位置を確認しておきましょう。

事業所のどこにどんな消防用設備等が配置されているのか、手持ちの図面上にプロットし、訓練シナリオの作成に活用します。



## 進行要領の作成

想定が決まったら、当日の進行役として訓練の流れを組み立てましょう。4 ページを参照してください。

訓練自体の流れは、「ステップ3 シナリオ型実行動訓練」のページにある、シナリオ例を参考にさせていただくとわかりやすいと思います。



ステップ3シナリオ型  
実行動訓練ページへ



## チェックシートの作成

統括者が訓練全体を視察し、参加者の行動要領をチェックできるシートを作成しましょう。「ステップ3 シナリオ型実行動訓練」のページにあるチェックシート例を事業所の実態に合わせて編集し、活用してください。



ステップ3シナリオ型  
実行動訓練ページへ



## 消防訓練の案内

参加対象者の皆さんに、訓練日時や場所、訓練内容をお知らせしましょう。5ページを参照してください。



## 消防署への届出

防火管理者選任規模以上の事業所では、訓練実施の3日前までに、訓練を実施する区の消防署予防課へ「消防訓練実施届」を提出しましょう。

詳細は名古屋市の「消防訓練実施届」のページを参照してください。

またその際には、下記の訓練用資器材の貸出等についてもご相談、お申し出ください。

- ・ 訓練用水消火器、標的
- ・ 火災訓練通報装置
- ・ 119番模擬通報



名古屋市ウェブサイト  
消防訓練実施届詳細ページ



## 関係機関との調整

- ・ 警備会社や消防設備業者との調整

実際に消防用設備を作動させる場合、他の設備と連動している場合があります。連動を停止させる方法や復旧方法の確認、立会いを依頼するなど調整を行ってください。

- ・ 近隣事業所や住民への周知

非常ベルの鳴動など、近隣への配慮が必要な場合があります。

# シナリオ型訓練

## ～訓練担当者の進行要領～

### あいさつ

### 訓練説明

- 今日の訓練は、事前にお配りしたシナリオに沿った形で行っていただきます。シナリオや資料を見ながらでも結構ですので、あわてず確実にいき、習得できるようにしましょう。終わりましたら反省会を行いますので〇〇に集合してください。

### 訓練待機

- 各々の持ち場に待機します。
- 館内放送等により、消防訓練を行う旨を周知します。

### シナリオ型訓練開始

- シナリオに沿って消防訓練を実施します。
- 記録係は時間を記録します。
- 統括者は全体の動きをチェックします。

### 反省会

- 各班からの反省事項を発表します。
- 記録係は計測した時間を発表し、前回との比較等を行い検証します。
- 統括者は、チェック項目に沿って第三者の目で見たと反省事項を発表し、今後の課題や改善方法を検証します。
- 今後も反復訓練を実施し、どの役割でもこなせるよう体で覚えていきましょう。

# 消防訓練のご案内

日時

20××年×月×日（火）午後13時～13時30分

集合場所

第3会議室



## 火災に備えて消防訓練を行います



シナリオ型の消防訓練です



事前にシナリオを読んで自分の行動内容を予習しておきましょう



他の人の動きもできるようになりましょう



動きやすい服装で参加しましょう



訓練終了後に反省会を行います



所要時間は30分程度です

火災が発生すると、どんな人でも一時的に頭が真っ白になり、正常な判断力も失われるという状態になります。火災時にどのように対応するのか身体が覚えていて動けるよう、想定シナリオに沿って訓練を繰り返すことが重要です。